

参考資料 2

アジア環境リーダー育成イニシアティブの首脳会議等における位置づけ

1 東アジア首脳会議（EAS）

時 期：2007年11月21日（シンガポール）

参加国：16カ国（ASEAN10カ国、日、中、韓、印、豪、NZ）

議 題：環境・省エネ（環境分野における協力強化）

概 要：福田総理から日本の環境協カイニシアティブ（※）として、「アジアの環境リーダーを育成するため、日本国内の大学院と協働して、東アジアにおける環境分野での大学院間のネットワークを構築」と表明。

※イニシアティブはサミットにて総理が各国首脳に表明・配布。

同会議のシンガポール宣言でも環境分野の人材育成推進に合意。

○ シンガポール宣言

“17. **Promote** environmental education to enhance human resource capabilities to address the challenges of ensuring sustainable development in EAS participating countries;”

2 ASEAN+3環境大臣会合

時 期：2007年9月7日（タイ・バンコク）

参加国：13カ国（ASEAN10カ国、日、中、韓）

概 要：アジア環境リーダー育成イニシアティブを紹介するとともに、本イニシアティブに係る協力をASEAN+3各国に依頼。

3 日中ハイレベル経済対話

時 期：2007年12月1日（中国・北京）

議 題：環境・省エネ（環境分野における協力強化）

○ プレス・コミュニケ

「5. 双方は、両国の高等教育機関における持続可能な開発のための教育・環境教育を推進していくことで一致した。」

4 福田総理訪中

時 期：2007年12月27日～30日（中国・北京）

○ 日本国政府と中華人民共和国との環境・エネルギー分野における協力推進に関する共同コミュニケ

「十一、（中略）環境関連の大学院ネットワークを構築し、環境人材を養成する。」